

【重点審議事項の論点整理について（文化スポーツ部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
滋賀の美の魅力発信と文化財の活用について	○令和4年6月8日 常任委員会 ・（仮称）新・琵琶湖文化館整備事業に係る実施方針および要求水準書（案）について  ○令和4年8月9日 常任委員会 ・（仮称）新・琵琶湖文化館設置事業に係る特定事業の選定について  ●令和4年11月8日～10日 県外行政調査 宮城県美術館（宮城県仙台市） ・施設の概要および運営状況等について  ○令和4年12月15日 常任委員会 ・一般所管事項について	（仮称）新・琵琶湖文化館の整備・運営について	・現在の琵琶湖文化館の建設費の半分以上を寄附で賅っているため、今回の整備事業でも多くの寄附を集める努力をしていただきたい。  ・文化財保護の分野は、行政がこれまで担ってきた仕事であり、基本的には営利目的の運営とは相いれないため、民間事業者に任せるのではなく、県が運営していただきたい。  ・大津港港湾業務用地に建設する立地を生かして、他の地域の文化財も含めて盛り上げていくため、文化スポーツ部だけで考えるのではなく他部局とも連携して取り組んでいただきたい。	
	文化財の活用について	・安土城考古博物館の第1展示室に展示されている弥生時代、古墳時代の展示物について、リニューアルに伴い常設展示できなくなってしまうので、しっかりと展示機会を確保するとともに、文化財として守っていただきたい。		

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備 考
スポーツの更なる振興に向けた環境の整備について	○令和4年5月27日 常任委員会 ・議第81号 令和4年度滋賀県一般会計補正予算(第1号)のうち文化スポーツ部所管部分について	びわ湖マラソン2023の開催について	・第1回目の開催は非常に大切であるので、大会を盛り上げる方法をしっかりと考えるとともに、スポンサーの確保にも取り組んでいただきたい。	令和5年 3月29日 「第3期滋賀県スポーツ推進計画」策定
	○令和4年7月19日 常任委員会 ・「びわ湖マラソン2023」ランナー・ボランティアの募集について	滋賀アリーナの整備・運営について	・滋賀レイクスターズがホームゲームを行う際には、もちろん滋賀レイクスターズの企業努力も必要だが、滋賀アリーナを積極的に活用し、観客数を増やす努力を県も行う必要がある。	
	○令和4年8月9日 常任委員会 ・第3期滋賀県スポーツ推進計画(骨子案)について  ○令和4年10月7日 常任委員会 ・報第16号 第2期滋賀県スポーツ推進計画に基づく施策の実施状況について ・第3期滋賀県スポーツ推進計画(素案)について  ●令和4年11月8日～10日 県外行政調査 あづま総合運動公園(福島県福島市) ・施設の概要および運営状況等について  ○令和4年12月15日 常任委員会 ・一般所管事項について  ○令和5年2月8日 常任委員会 ・第3期滋賀県スポーツ推進計画(案)について	第3期滋賀県スポーツ推進計画の策定について	・スポーツ指導者や意思決定の場に女性が少ない傾向があるので、この計画に女性の活躍について数値目標を含めて記載していただきたい。  ・子供たちには大きく夢を持ち、小さい時から頑張ってもらいたいと思うので、国民スポーツ大会後も、レイキッズの取組は継続していただきたい。  ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会後も、企業にはアスリートを積極的に採用してほしいと思うので、採用に関する事項を計画の目標値に入れていただきたい。  ・スポーツ施策を推進するためには、誰でも簡単にスポーツ施設等を利用できることが必要。そういった施設を簡単に予約できるなどのICTの活用について、この計画に記載していただきたい。  ・滋賀アリーナと彦根総合スポーツ公園、草津市立プールについて、令和9年度のワールドマスターズゲームズ以降に開催する大会を考えるなど、先を見こして施設の有効活用を図っていただきたい。	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備 考
			<p>・高齢化が進展している中、高齢者スポーツについて、地域の老人会や市町などと協力して取り組んでいただきたい。</p> <p>・スポーツを見て応援するという視点も大事なので、ボランティアに手伝ってもらおうという視点だけではなく、どうすれば一緒に応援して盛り上げていけるのかという観点も必要である。</p>	

【重点審議事項の論点整理について（教育委員会所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>魅力ある県立学校づくりについて</p>	<p>○令和4年7月19日 常任委員会 ・（仮称）滋賀の県立高等学校魅力化プランについて</p> <p>●令和4年9月15日 県内行政調査 総合教育センター（野洲市） ・教育人材の育成について</p> <p>○令和4年10月6日 常任委員会 ・（仮称）滋賀の県立高等学校魅力化プランについて</p> <p>○令和5年2月8日 常任委員会 ・「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」（素案）について</p>	<p>滋賀の県立高等学校魅力化プランについて</p>	<p>・県立高等学校の魅力化を図るに当たり、現場の思いが形になるように、どうしたらできるのかという発想で、予算や人の確保、現場の裁量権などにも配慮いただきたい。</p> <p>・石山高校の音楽科は、定員割れとなっているが、特色ある学科であるので残していただきたい。また、草津東高校の体育科の倍率は高くニーズが高いため、もう一步検討いただきたい。</p> <p>・魅力化で強調された部分と生徒の認識の違いによるミスマッチを起こさないためには、一面のみで学校の特徴を捉えるのではなく、丁寧な進路指導が必要である。</p> <p>・子供たちのニーズに合致した魅力化を打ち出して、定員割れしている学校が減るようなプランを作成していただきたい。</p> <p>・魅力化の取組が、単に楽しい学校づくりで終わってしまうのではなく、生徒にとってその後の道が開けることが大切なので、教育委員会と学校で共に汗をかいて取り組んでいただきたい。</p>	<p>令和5年 3月24日 「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」策定</p>

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>学校におけるICT活用の推進について</p>	<p>○令和4年5月18日 常任委員会 ・県立高等学校、県立特別支援学校における1人1台端末の導入状況について</p> <p>○令和4年6月8日 常任委員会 ・令和4年度第1回滋賀県総合教育会議の結果について</p> <p>○令和4年9月14日 常任委員会 ・次期滋賀県教育振興基本計画の策定に向けた取組状況について</p> <p>○令和4年11月7日 常任委員会 ・「(仮称) 滋賀県学校教育情報化推進計画」素案について</p> <p>○令和4年12月14日 常任委員会 ・「(仮称) 滋賀県学校教育情報化推進計画」原案について</p>	<p>学校におけるICT活用の推進について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末導入初年度となるため、状況を把握するという管理の姿勢ではなく、現場が端末をしっかりと活用できるように教育委員会としてサポート体制を整えていただきたい。</li> <li>・先生より子供のほうが端末を早く使いこなせるようになることもあるので、子供に教わる視点も持ちながら取り組む必要がある。</li> <li>・不登校の児童生徒の中には、オンラインの方が学びやすい子供もいると思うので、それぞれの児童生徒に合わせた支援を幅広く取り入れていただきたい。</li> <li>・子供たちがどうすれば人間関係をつくれ、学びも深まるのかという出発点を忘れず、端末は子供たちがより良い学びを得るためのツールの一つであるという立場で取組を進めていただきたい。</li> <li>・ICTの活用に関する立場は様々あるが、今後、子供たちの学びを形づくる上で必須であるので、教育委員会としてICTの活用に関する方向性を整理して取り組んでいただきたい。</li> </ul>	<p>令和5年 3月24日 「滋賀県学校教育情報化推進計画」策定</p>
		<p>滋賀県学校教育情報化推進計画の策定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用した授業が1クラス当たり週3回以上とする目標について、目標設定が低いと思うのでもう少し高い目標とすることを検討していただきたい。</li> <li>・子供のうちにデジタルになれることも大事だが、アナログを上手に活用することも重要であるので、両方のバランスをうまく取って計画を進めていただきたい。</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備 考
<p>教育人材の確保と育成について</p>	<p>○令和4年5月18日 常任委員会 ・令和4年度中に策定、変更が予定されている計画等について</p> <p>○令和4年7月19日 常任委員会 ・(仮称)滋賀の県立高等学校魅力化プランについて</p> <p>○令和4年9月14日 常任委員会 ・次期滋賀県教育振興基本計画の策定に向けた取組状況について</p>	<p>教育人材の確保について</p>	<p>・高校の段階から情報科目の実践的な知識を得て、興味を持つ生徒を増やすために、情報の教員免許を持つ先生の採用を増やすとともに、民間の最先端の知識を持った方も採用していただきたい。</p> <p>・人を育てるのは人であり、その要である教員の質、量ともに確保することこそが重要なので、次期滋賀県教育振興基本計画にそのことをしっかりと盛り込んでいただきたい。</p>	<p>令和5年 3月24日 「学校における働き方改革取組計画」策定</p>
	<p>●令和4年9月15日 県内行政調査 総合教育センター(野洲市) ・教育人材の育成について</p> <p>○令和4年10月6日 常任委員会 ・学校における働き方改革取組計画について</p>	<p>教育人材の育成について</p>	<p>・子供からすると臨時講師であろうと正規雇用の教員であろうと違いはないので、臨時、正規を問わず研修をしっかりと受けられるようにしていただきたい。</p> <p>・教員が逮捕される事案が毎年のように発生しているので、第4期滋賀県教育振興基本計画には、教職員の資質能力の向上について記載する必要がある。</p>	
	<p>●令和4年11月8日～10日 県外行政調査 栗原市立志波姫中学校(宮城県栗原市) ・部活動の地域移行の取組について</p> <p>●令和4年11月24日 県外行政調査 滋賀大学大津キャンパス(大津市) ・滋賀大学教育学部生との県民参画委員会</p> <p>○令和4年12月14日 常任委員会 ・第4期滋賀県教育振興基本計画骨子案について</p> <p>○令和5年2月8日 常任委員会 ・次期学校における働き方改革取組計画について(案)</p>	<p>働き方改革の取組について</p>	<p>・次期学校における働き方改革取組計画について、教員が疲弊すると授業など子供にも影響があることから、現場の教員の意見を聞いて議論していただきたい。</p> <p>・教員の働き方改革により子供たちが犠牲にならないよう、子供たちを第一に考えて取り組んでいただきたい。</p> <p>・部活動の地域移行について、どのように対応するのかを学校や地域任せにせず、教育委員会も一緒に考えていただきたい。</p> <p>・長年の慣例で行っており意味が薄れている業務や、ICT化を進めることにより削減できる業務など、学校ごとに総点検を行ない、業務を減らす、または単純化する取組を行うべきである。</p>	